

松前町

# 議会だより

No.120

2024年2月1日発行

愛媛県伊予郡  
松前町議会

12月定例会



うまくつくれるかな？

P 8 一般質問 **6人が町政を質す**

P11 議会報告 & 意見交換会開催のお知らせ

松前町  
議会中継  
[録画]





## 12月定例会に提出された議案は、以下のとおりです。

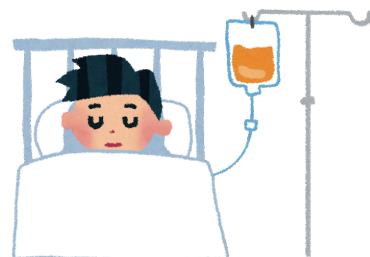
可決

議案番号	議 案 内 容
80	物価高騰の影響を受けている住民税非課税世帯の生活や暮らしを支援するための経費が緊急に必要なことから、令和5年度松前町一般会計の補正(5回目)として2億8398万4千円の増額を専決処分しました。(承認)
81	人事院勧告及び愛媛県人事委員会勧告を考慮し、職員及び特別職の給与を改定するため、関係する条例の一部を改正します。
82	出産被保険者がある世帯にかかる国民健康保険税を減額するため、松前町国民健康保険税条例の一部を改正します。
83	松前総合文化センターの外国語学習室及び第3研修室を廃止するため、松前町教育施設使用料条例の一部を改正します。
84	子ども医療費の助成対象を15歳から18歳に拡大し、子育て支援の充実を図るため、松前町子ども医療費助成条例の一部を改正します。
85	新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少が見込まれる者等の介護保険料を減免するため、松前町介護保険条例の一部を改正します。
86	愛媛県市町総合事務組合の共同処理する事務のうち、日本国内で交通事故により災害を受けた構成団体の住民又はその遺族の生活の共済に関する事務の構成団体から、大洲市が脱退するため、愛媛県市町総合事務組合同規約を変更します。
87	上記脱退に伴う財産処分について、愛媛県市町総合事務組合に帰属させるものとしします。
88	松前町児童館の指定管理者を、社会福祉法人 松前町社会福祉協議会に指定します。
89	81号による給与改定のため、令和5年度松前町一般会計の補正(6回目)として4044万7千円を増額します。
90	81号による給与改定のため、令和5年度松前町国民健康保険特別会計の補正(3回目)として61万円を増額します。
91	81号による給与改定のため、令和5年度松前町後期高齢者医療特別会計の補正(3回目)39万4千円を増額します。
92	81号による給与改定のため、令和5年度介護保険特別会計の補正(3回目)として306万7千円を増額します。
93	第5次松前町総合計画に示されたまちづくりの将来像である「生きる喜び あふれる まち まさき」を推進するため、5つの基本施策を具現化するため、令和5年度松前町一般会計の補正(7回目)として2億3405万2千円を増額します。
94	主に保険給付費等交付金の超過額を返還するため、令和5年度松前町国民健康保険特別会計の補正(4回目)として1736万円を増額します。
95	令和5年度介護保険特別会計の補正(4回目)として264万9千円を増額します。

<p>議員 提出 議案 2</p>	<p>地方自治法の一部改正を考慮し、町議会議員と町との間の地方自治法第 92 条の 2 に規定する請負の状況を公表することにより、議員の請負の状況の透明性を確保し、もって議会の運営の公正及び事務の執行の適正を図ることを目的として、<b>松前町議会議員の請負の状況の公表に関する条例を制定します。</b></p>
<p>議選 10</p>	<p>愛媛県後期高齢者医療広域連合議会議員に田中浩介町長を推薦します。(選挙確定)</p>

## 令和 5 年度松前町一般会計の補正(7回目)の主な事業

- ・ 自立支援給付費 …………… 5916万1千円  
(就労継続支援、共同生活援助など)
- ・ 子ども医療費 …………… 5038万9千円
- ・ 町道筒井徳丸線舗装補修工事 …………… 3100万円
- ・ 江川住宅外壁改修工事(3・4棟) …………… 4730万円



## 松前町議会議員の請負の状況の公表に関する条例

### 条例制定までの経緯

地方自治法第 92 条の2では

- ・ 「請負」の定義が不明確であること
- ・ 個人による請負は金額の多寡にかかわらず禁止されていること

これらのことが議員のなり手不足の原因となっているとの指摘があった。



- ・ 「請負」の定義の明確化
- ・ 議会の適正な運営を確保する観点から政令で定める額(300万円)の範囲内で、個人による地方自治体に対する請負が可能



議員が本町に対し請負をする場合、請負の状況を公表すること等により、

- ・ **透明性の確保**
  - ・ **議会の運営の公正及び事務の執行の適正を図る**
- ことを目的として、この条例を制定する。

### 条例の概要

- ・ 議員は、請負があった場合、6月中に前会計年度分の内容をまとめて議長に報告しなければならない。
- ・ 議長は、議員からの報告を一覧にまとめて報告しなければならない。
- ・ 誰でも、議長に対し、一覧の閲覧や写しの交付を求めることができる。



# 一般会計補正予算

## 福祉の充実

### 障がい者(児)の

### 自立と社会参加を支援

**問** 支援する各種サービスの利用者が増えた要因は。

**答** 取り扱う事業者の増とサービスの細分化により、それぞれの状態に合ったサービスが提供されるようになった。適切なサービスを提供することで自立と社会参加を支援している。

### 老人ホーム入所措置費の

### 増額

**問** 増額の理由は。

**答** 当初予算では22名分を計上。年度途中で3名増えたことにより25名分の予算計上額となった。



## 農業・漁業の

### 修繕整備

**問** 債務負担行為※の徳丸一丁泉揚水機改修の内容と地元負担割合は。

**答** 壊れているポンプの改修工事です。事業費の4割が地元負担。令和6年の田植え時期までに工事を完了したい。



田植えまでには改修完了を！

### ※債務負担行為とは

町の経費は単年度予算が原則であるが、年度をまたいで事業を行う場合、次年度に予算として計上して支出するもので、議会の議決を経て決定される。



安全・安心のために

**問** 港湾整備の内容と負担割合は。  
**答** 港湾に照明をつける工事で、県の事業費1128万円を予定しており、その3分の1が町の負担となる。

## 議員研修会に参加してきました

令和5年10月13日(金)

第61回四国地区町村議会議長会研修会

開催地:徳島県

講演:共同通信社 久江雅彦氏



高知

愛媛



# 総務産業建設

**問** 愛媛県市町総合事務組合の構成団体から大洲市が脱退することを受けて、一切の財産が組合に帰属することになるが、財産とはどういったものか。

**答** 大洲市の住民が交通災害共済に加入した際の掛け金である。

# 文教厚生

## 職員の工夫が感じられる 歴史民俗資料室が完成



**問** 松前総合文化センター3階に歴史民俗資料室が完成したが、外国語学習室等を廃止したことの影響は。

**答** 外国語学習室等の定期利用もなく、利用率は低かった。他の部屋で対応できており、町民にご不便をかけてはいないと考えている。

**問** 今後の維持管理や盗難・毀損の対応は。

**答** なるべく経費のかからない方法で企画展示等の実施や、維持管理をしていきたい。貴重な物もあるので、指定管理者に管理を依頼し、監視カメラを設置して監視体制をとっている。

**意見** 歴史民俗資料室の開設を広く町民に周知してほしい。

## 松前町児童館の 指定管理者が決定

**問** 指定管理料が5年間で約200万円増えており、主な要因を人件費の見直しとしているが。

**答** 町の会計年度任用職員の金額を基準に再計算したことで、人件費が増えたが人数は増えていない。また、この5年間は、北公民館の耐震改修工事で、事業ができていない期間があり、人件費と事業費等の運営費を総合的に比較した結果である。

**問** 選定にあたり、安全対策と環境対策の評価が低い。

**答** 多くの住民の出入りがある北公民館の中で事業を実施していることから、できる限りの安全対策を講じるよう、今後も十分に検討していきたい。



## 現場視察

定例会初日、現場視察で、

○江川住宅（3・4棟）

外壁改修工事地

・第8分団消防詰所建設地

・舗装長寿命化修繕予定地

（北黒田）

を訪ね、担当者から説明を受けました。



1億2030万円

# 一部事務組合議会 (令和4年度決算認定)

## 伊予市・伊予郡養護老人ホーム組合 和楽園

**総額 2億9568万円**

- 分担金及び負担金 1億5795万円  
(内松前町分 7943万円)
- 出身地別措置者数(令和5年10月1日現在)  
松前町 … 20人 伊予市 … 10人  
砥部町 … 4人 組合外 … 12人



## 伊予消防等事務組合 各消防署及び聖浄苑

**総額 21億2350万円**

- 分担金及び負担金 20億2542万円  
(内松前町分 6億971万円)
- 斎場「聖浄苑」令和6年3月1日供用開始  
(令和6年度未完成予定)



## 伊予市松前町共立衛生組合 塩美園

**総額 2億1207万円**

- 分担金及び負担金 1億9773万円  
(内松前町分 1億497万円)



## 伊予地区ごみ処理施設管理組合 伊予地区清掃センター

**総額 4億3322万円**

- 分担金及び負担金 3億7万円  
(内松前町分 1億4048万円)



※ 1万円未満は切り捨てて表示しています

**町長**  
 今まで、多くの方々と対話してきましたが、本町で見落としてきた課題、気付かなかった課題がたくさんあると感じました。それらの課題を希望に変えていかなければなりません。  
 議員の皆様は町民の代表でございますので、そのご意見も必ず町政に反映するなど、対話型の町政を皆様と一緒に築いていきたいと思っております。どうぞお力添えをいただければ幸いです。よろしくお願いたします。



12月11日 田中新町長、議長室へ

**田中新町長  
就任のあいさつ**



# 一般質問

## 6 議員が登壇

### 重松 知之 議員 (8ページ)



- ◆人口減少への対応は。
- ◆大人の引きこもりの実態把握は。
- 総合病院の誘致は。

### 藤岡 緑 議員 (8ページ)



- ◆公約実現に向けての取組は。
- ◆ビジネススクアラーに対する取組は。

### 村井 慶太郎 議員 (9ページ)



- ◆「圧倒的な子育て支援」にある3つの無償化の具体的な内容は。
- ◆大谷選手から寄贈のグローブの取扱いは。

### 曾我部 秀司 議員 (9ページ)



- ◆「義農大賞」に対する町長の考えは。
- ◆「浄化槽設置費補助金(新築分の廃止)」に対する町民及び町長の考えは。

### 池田 幸子 議員 (10ページ)



- ◆教育DXの推進に向けた考えは。
- ◆有機農業の現状と取組は。
- 「第5次松前町総合計画」変更の考えは。
- 出生率向上に向けた子育て支援政策実現の考えは。

### 影岡 俊範 議員 (10ページ)



- ◆休日部活動の地域移行推進の現状は。
- ◆地域共生社会を支える高齢者活躍推進の考えは。

◆赤字項目を掲載しています。

## 「議会だより」 どうですか？



毎回、広報読者モニターに  
お答えいただいています

### アンケート内容

- ①興味を持った記事
- ②「議会だより」の印象
- ③「かなり良い」「おおむね良い」点
- ④「あまり良くない」「良くない」点
- ⑤表紙
- ⑥その他

### アンケート集計 2023.2月号～2023.11月号

- ①一般質問、予算決算関係、町民の声委員会ニュース、議会のしくみとながれ
- ②「おおむね良い」という回答多数
- ③・QRコード導入はとてもよい。  
・伝わりやすくしようとしていることが分かる。  
・見出しが分かりやすく、内容もしっかりと書かれている。  
・Q&A形式は分かりやすい。  
・文が端的で読みやすい。  
・図や写真・グラフを使って分かりやすくなっている。  
・カラー表示などにより、見やすく分かりやすい。
- ④・文字が大きすぎ、太字で読みにくい。  
・いろいろなカラーを使うのはよいが、見にくい部分がある。
- ⑤写真を使っていて親しみやすい。
- ⑥・興味をもちにくいと感じる。  
・読んでいる人が周りにはいない。

※多くのご意見ありがとうございます。  
これらを参考によりよき議会広報を目指していきます。



重松 知之 議員

**問** 人口減少にどのように対応していくのか。

**答** 新しい産業の誘致や地域資源を生かした新たなビジネス創出に取り組み、若い世代の定着促進を図る。そして、子育て支援や教育の充実など、真に安心して子どもを産み育てられる環境整備に取り組み、出生数の増加を目指す。

**問** 大人の引きこもりについて、町内の引きこもりの人数は把握しているか。

また、引きこもり状態の子を親が面倒を見る「8050問題」が全国的に深刻化しているが、積極的な訪問をして実態を把握するといった考えはあるか。

**答** 国では、昨年11月に内閣府が実施した調査によると、引きこもりの状態が続いている人は、15歳から64歳までの年齢層では

2%余り、146万人に上るとされており、この調査をもとに町内で試算すると、約340人と推計される。

引きこもりの要因は、家族構成や家庭環境によって千差万別である。対象世帯によっては、家族が外部の人に知られたいといったケースもあり、相談を受ける前に訪問することによって、さらに引きこもりの状態を悪化させてしまうこともある。そのため積極的な訪問による実態把握の考えはないが、引きこもり状態にある方の情報を把握したときには、個々の状況に応じた、多様な悩みに寄り添った支援が必要であると考えている。



藤岡 緑 議員

**問** 町政の諸問題に対し、新町長として何を再重要課題として掲げ、具体的に実施していくのか。

**答** 様々な地域課題の根底には、人口減少・少子高齢化がある。

本町においても2005年をピークに人口減少傾向が続き、中核となつて社会を支える世代は2020年までに約3千人が減少し、出生率は県内ワースト3で17年後には、高齢化率40%まで上昇すると予測されている。

この状況を打開していくには、圧倒的な子育て支援、真の教育の町、高齢者にやさしいまちづくり、新産業・経済成長戦略、持続可能な町の基盤整備の5つの政策を実現、実行していきたい。

ただし、政策にはすぐに実現可能なものと時間を要するものがあり、財源も必要。既存事業の見直し、未来を変える取捨選択を皆さんと共に考えたい。

**問** 高齢化社会の中で働きながら親などの介護をする人をビジネスケアラーと呼んでいるが、年々増加し、離職にもつながる社会問題に町としての取組は。

**答** 国の推計では、ビジネスケアラーの介護離職等による経済損失額は、2030年時点で約9兆円と試算している。介護と仕事の両立支援のために、企業が取り組むガイドラインの策定に向け議論が始まったばかりだ。

本町では地域包括支援センターに総合相談窓口を設置し、高齢者や家族介護者等からの様々な相談を受け付け、医療機関やサービス事業者と連携しながら高齢者一人ひとりの状況に応じた支援に取り組んでいる。また相談支援体制の強化のため、介護支援専門員連絡会を定期的に関き本年もケアマネジャーを対象に研修会を開いた。今後とも相談窓口の周知とビジネスケアラーに寄り添った支援に努めていく。



離職せずに安心介護を





村井 慶太郎 議員

**意見**

保育料については一人目から無償にしてみたい。給食費

**問**

給食費の無償化はいつからか。

早期実現を目指し、当初予算に計上するよう努力していく。

**答**

出生率を上げるために、財源のことも考え無償化は二人目からと考えている。

**問**

一人目からの保育料無償化の考えは。

子育ての経済的な負担を軽減するため、18歳までの医療費無料化、二人目以降の保育料無償化、小中学校の給食費無償化の3つの無償化を行う。そして子どもを預けやすい環境を整備するなどし、圧倒的に子どもを産み育てやすい町を実現する。

**問**

圧倒的子育て支援とは。

子育ての経済的な負担を軽減



みんなとっしょで楽しいなあ

の無償化もこの4月から実現できるよう新町長に期待する。

**問**

大谷選手から寄贈のグローブの取扱いは。

**答**

「野球を通じて元気に楽しく日々を過ごしてもらいたい。このグローブを使っていた子どもたちと将来一緒に野球ができることを楽しみにしている」という大谷選手の思いを尊重し、子どもたちが実際に触れ、使うことができるようにしたい。また地域の方にも見ていただけるような活用について、各小学校において子どもたちの意見も取り入れながら考えていく。



曾我部 秀司 議員

**問**

対話集会において「浄化槽設

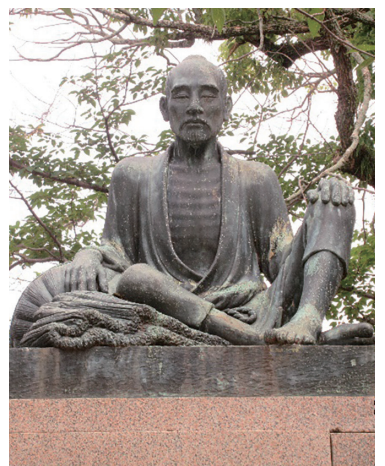
置費補助金（新築分の廃止）」が話題になっていたようだ。岡田・北伊予校区の住民から、新築分の補助金については、「是非、復活を」というご意見をいただいた。また、公共下水道事業計画区域以外の住民が、町的生活環境保全のため、法に従い、自らが合併浄化槽の設置をしているのに、支援がないことに不公平感を感じられていた。

**問**

「義農大賞」に対する町長の考えは。

**答**

多くの善意ある団体から応募があった状況から、表彰の中止はできないと考えている。しかし、批判のある中で計画どおりに事業を進めることは適当ではないため、表彰式で予定している「能」の公演を中止するなど、今後の実行委員会において、事業の見直しを検討する。現在のような多額の財源を必要とする事業の在り方は廃止すべきと考えている。



置費補助金（新築分の廃止）」が話題になっていたようだ。

**答**

今後、義農祭にて、町内でボランティア活動を行っている団体を表彰するなど、「コストがかからない方法で町内の「義農精神」を体现する団体に光が当たるよう、事業の検討していきたい。

**問**

「浄化槽設置費補助金（新築分）」に対する町長の考えは。

**答**

浄化槽補助は、公共下水道事業計画区域以外の地域の生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与することを目的として実施されていることから、新築分についても補助をする必要があると考えている。補助開始時期や補助額については、実施に向け現在検討を進めている。



池田 幸子 議員

**問** 学校教育におけるDX推進について、コロナ禍で遠隔授業の必要性が出たため、急速な環境整備がなされた。それにより表面化した、児童・生徒に有益だった点や課題と今後の対策は。

**答** DX推進により、①児童生徒一人ひとりの個別最適な学び②リモート授業など場所を選ばない学習環境の構築③教職員の負担軽減、が実現可能となる。

課題として、学校や教職員による取組の格差・インフラ整備の遅れが浮上した。  
 今後は、教職員研修の充実を図り、児童・生徒のスキルチェックとデジタルリテラシーの向上、インフラ整備による通信環境の充実を図っていく。

\*教育DX: データやデジタル技術の活用によって、学校教育の在り方や教育手法の変革を行うこと  
 \*デジタルリテラシー: デジタルを使いこなす能力

**問** 有機農業を推進するために本町が取り組んでいることは。

また、給食は子どもの発達には大きく影響するが、オーガニック給食の実現に向け、オーガニックビレッジ宣言への意向は。

**答** 有機農業が広からない理由としては、化学肥料や農薬を使用しないことから収穫量の減少、手間が掛かること、また、販路開拓などの人手が足りないことなどが考えられる。ゆえに、オーガニックビレッジ宣言の意向についても、町内の農業者からは消極的な意見が多い。まずは消費者に対する周知啓発をし、消費者の意識が高まり、有機農産物の需要が高まらないと、有機農業に取り組む農業者が増えない。

有機農業の普及により地域ぐるみで取り組むオーガニックビレッジの宣言を行える兆しが見え、オーガニック給食へ転換するための課題がクリアできる見込みになれば、オーガニック給食について検討したい。



影岡 俊範 議員

**問** 中学校の部活動地域移行の進展は。

**答** 「松前町部活動地域移行検討委員会」を設置し、本年6月8日に第1回会議を開催した。

今年度、地域スポーツ活動としてのモデル事業として、松前ホッケークラブと北伊予中学校女子ソフトテニス部を指定した。

令和6年度に「松前町部活動改革推進計画」を策定し、地域や学校の実情に合わせて、段階的に部活動の地域移行を進める。

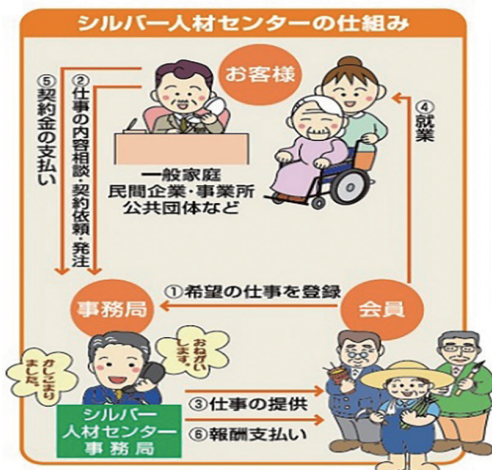
来年度、配置のための費用補助を県教育委員会へ要望し、今後、指導員の募集等に係る受入体制を整備していきたい。

**問** 「地域共生社会」を支える高齢者活躍推進にシルバー人材センターの活用を。

**答** 松前町高齢者福祉計画において、地域活動等への参加を促進

するため、高齢者の就労支援を取組項目として、シルバー人材センターの加入者数の増加を掲げているほか、令和6年度から令和8年度までを計画期間とし、町からシルバー人材センターに委託する業務数を増やすことを予定している。

今後も引き続き、シルバー人材センターに対し、高齢者の能力を生かせる多種多様な就労の場を確保するよう働き掛けていくとともに、高齢者の社会参加の拡充を図り、活躍の場の創出に努めていく。







# 松前町議会 議会報告 & 意見交換会 開催のお知らせ

コロナの影響により中止していた「議会報告 & 意見交換会」を4年ぶりに開催します。

議会報告だけでなく、町民の皆様のご意見・ご要望をより細かく収集できるよう、ワークショップ形式の意見交換も開催します。

皆様、多数のご参加をお待ちしています。

○日 時 2月17日(土) 10:00~11:30 (開場 9:30)

○場 所 松前総合文化センター 2F ふれあい展示室

- 内 容
- ①議会(委員会)からの報告  
議会のしくみと各常任委員会の活動状況
  - ②意見交換  
小グループに分かれ、ワークショップ形式で  
テーマ:今困っていること、考えてほしいこと  
今後、町や議会に期待していること  
※出てきた意見・要望に対する回答を  
議会だよりに掲載(6月定例会後)
  - ③意見発表し、全員で共有する



【問い合わせ先】

松前町議会事務局 TEL 985-4130

## 町民の声

### 選挙の一年を終えて

北伊予の一町民より

今年は国政レベルでの選挙はなかったものの、4月の県議選・8月の町議選・11月の町長選と私たちに身近な選挙が続いた一年でした。いずれの選挙でも投票率の低さが指摘されましたが、選挙権は投票する権利であると同時に義務でもあると言えます。

政治が私たちの生活に直結するものであることを考えた場合、選挙が終わった後も関心を維持続けることが大事だと思います。

町議選では新人・女性が躍進し、町長選では新人が当選となりました。町長・議会が車の両輪となって、町民のための政治に向かって取り組んでいただくことを切に希望します。

## 『町民の声』をお寄せ下さい

次号議会だよりの掲載の締切りは2月末です。  
300字程度で必ず名前・住所・連絡先・ペンネーム(希望する場合)をお書きください。  
(投書多数の場合は、広報委員会で決定)

【宛先】〒791-3192 松前町筒井631  
議会広報常任委員会「町民の声」係  
◆ Fax 985-4148 ◆

メールは、町のホームページからタイトルに「町民の声」と入力の上「議会事務局」へお送りください。

### 【次回定例会の予定】

2月26日(月)~3月13日(水)

一般  
質問

3月4日(月)

インターネット  
配信やっています



### 表紙から一言

「じいじは、じいちゃんやってねじるんよ。」  
親・子・孫、三世代集まっつてのしめ縄作り。

何度やってもうまくいかなないが、お年寄りたちは、こともなげに藁と藁を両手でねじり、上手に作ってみせる。

「最近では、うまいこと作る人も減ってきたわい。」

一昔前は、正月といえば、玄関に飾ったり、車に飾ったりしているのをよく見かけたものだ。

時代は変わり、しめ縄をインターネットで買う人も多いのだそう。

日本の古き良き文化、少しでも守っていききたい。



### 編集後記

私が広報委員会に携わって2回目の議会だよりのなりました。馴染のない難しい言葉を調べ、硬い言葉が並ぶ議案を眺めながら、どうやったら町民の皆さんに伝わりやすくなるか、気軽に目を通していただけるか、とても悩みながら作成しております。

12月定例会は新町長就任後初ということもあり、議場の傍聴席がにぎわっていました。共に希望ある松前町を創っていきましよう。

(池田 幸子)

#### 議会広報常任委員会

委員長	曾我部秀司
副委員長	池田 幸子
委員	影岡 俊範
委員	城村トキ子
委員	渡部 惠美
委員	池内 邦仁
委員	重松 知之

